

一般質問から

バス路線について

Q 駅開業にあたってバス路線網が見直されました。見直しの際の「検討会」の報告書では、「一年ないし二年が経過した時点でのフォローアップ調査」や、これを踏まえた「場を設ける」必要性についてふれて

います。道路整備も進みつつある中で市内バス路線網の充実方策についてお聞かせ下さい。

A 市では、平成十八年度に市民アンケートやバス利用者アンケートを実施し、バス路線に関する問題点や改善要望、バス交通に関する意向を把握しました。

この結果に基づき、国・県・市・バス事業者で構成される検討会を設置し、改善に向けた検討を行ってまいりました。

市職員適正化計画について

Q 計画では22年度までに17年度比4・6%減だが、人口千人当たり県内市町村平均では102人多い。事業のスクラップ&ビルド・適正な人員配置・全庁的な応援体制の更なる推進。臨時職員や派遣社員の採用・退職者の再雇用を図り、新規採用を抑制し、人件費の削減に努め、もっと高い数値目標を設定することが経常収支比率の改善にも繋がると思うが。

策定し、職員数の適正化に努めているところですが、計画期間満了後につきましては、社会情勢や国の動向などを踏まえながら、市民サービスに低下をきたさないよう、新たな定員適正化計画を策定するなど、定員管理の適正化に努めてまいります。

鹿野 泰司

分権社会における「地域力・市民力」について

Q 全国都市問題会議において「地域力・市民力」をテーマに事例が紹介されました。会議を終え、今後の市政にどう活かしていくのか、市長の考えを伺います。

A 分権社会における都市自治体として、個性豊かで活

力に満ちた地域社会の実現を図る事が求められている時に、様々な分野で活躍されている方々の事例が紹介され、勉強になりました。地方分権時代に突入した今日のコミュニティは行政と市民、NPO、議会それぞれの立場や、役割と責任を見直す

瀬戸 知英子

福祉作業所へ安心して通所できるように

Q 在宅の心身障害者の方に作業を通じて自立への援助を図るために、市内二ヶ所の公設公営の福祉作業所「やまびこ福祉作業所」「わかき福祉作業所」が現在、設置運営されている。利用者への柔軟な発想での対応と、より質の高いサービスの提供を図るために、指定管理者制度導入による福祉作業所の管理・運営について。

A 福祉作業所では、挨拶などの生活訓練や作業訓練をしており、指導に際し、通所者個々の特性にあわせた指導に努めております。

広沢 昇

小規模工事登録制度について

Q 地域経済の活性化をはかる目的で県内では64自治体

が実施しています。市の契約限度額30万円以下は県内最低です。近隣なみに見直すことについて伺います。

A この制度は、市が発注する小規模な建設工事等の契約について、市内業者の受注機会を拡大し、積極的に活用することによって、市内経済の活性化を図る目的で、平成12年度から実施しています。同制度の趣旨をふまえ、各関係課へ積極的な活用を進めています。契約の上限額を見直すことについては、

郡司 伶子

その他の一般質問事項

平成19年第4回定例会で行われたその他の一般質問事項については、次のとおりです。

- ▼地上デジタル放送への移行に向けた対応について
- ▼バス路線について
- ▼町会・自治会の役割について
- ▼自殺対策について
- ▼多文化共生施策について
- ▼人事異動について
- ▼子宮がん検診について
- ▼AEDの貸与制度の導入について
- ▼自治基本条例について
- ▼OSS（オープン・ソース・ソフトウェア）導入による行財政改革について
- ▼消防署の跡地利用について
- ▼全国一斉学力テストについて
- ▼臨時職員の採用状況、時間給及び一時金

- 支給について
- ▼番地表示について
- ▼南部地区区画整理事業について
- ▼要介護認定者に対する障害者控除認定証明について
- ▼財政の健全化について
- ▼中小企業融資制度について
- ▼資源物の収集について
- ▼子育て支援サービスの充実について
- ▼体育施設の整備について
- ▼埴川問題について
- ▼市民意識調査報告書について
- ▼高齢者医療について
- ▼防災行政無線について

A 総務省から示された「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」を踏まえ、ご指摘の削減計画を

